

# 除雪作業を密着取材！！車道除雪編

2月16日から大雪になりました。このまま春になるのかな～と思っていた矢先の出来事。当出張所管内でも除雪作業がフル稼働しています。

運搬排雪、凍結抑制剤散布に引き続き、今回は車道除雪をみなさんに紹介したいと思います。尾花沢国道南地区維持工事の車道除雪を取材しました。

## 車道除雪で活躍する車



記者M・T



技術係長

除雪グレーダです。  
車に踏まれて、固く滑りやすくなった雪を、運転席の下の固いブレードで削りとって道路の端に寄せます。雪でデコボコになった道路を平らにして車が走りやすいようにします。



管理係長

除雪トラックです。  
トラックの前方に除雪するための大きなプラウ装置を装着して、雪を道路の外へ出します。他の除雪機よりも力があり、雪を寄せながら高速で走ることができます。

Q. 出動する除雪車の台数はどうやって決まるのですか？

A. 除雪車にはそれぞれの働きがあり、雪の降り方や道路状況に応じて台数も変わってきます。

一般的に積雪が10cm(昼間は5cm)を超えるような場合、除雪トラックとグレーダーが出動します。例えば、国道13号の4車線区間は除雪トラック2台とグレーダー3台、2車線区間で除雪トラック1台とグレーダー2台が出動することになります。

Q. 場所や状況によって臨機応変にするんですね。いつでも出動できる体制になっているのですか？

A. 除雪ステーションには、24時間いつでも出動できるように作業員の人が待機しています。冬場の天候は変わりやすく、天気予報だけを頼りにしていると除雪作業が遅れ、道路が大渋滞となるためです。同じ作業員の人が24時間連続して働くことはできないので、2つのグループに分けて作業をしています。1つのグループは朝の7時～夜の7時まで。もう1つのグループは夜の7時～朝の7時までとなります。ステーションには情報連絡員1名、運転手3名、助手3名が待機しています。雪の多いときは当然作業員も多く出動することになります。



記者M・T



升川建設(株)  
斉藤さん  
(現場代理人)

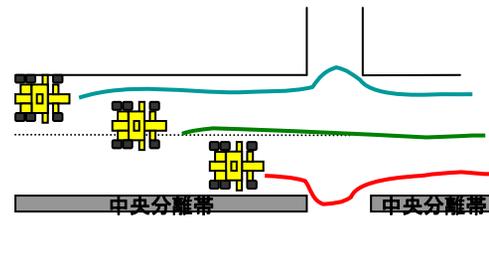
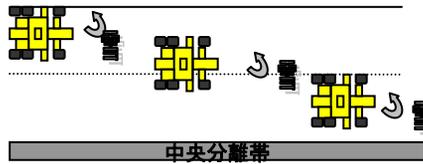
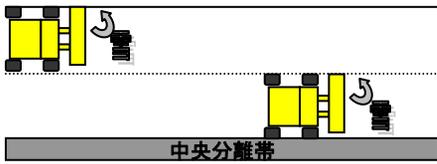


記者M・T



升川建設(株)  
斉藤さん  
(現場代理人)

# 4車線区間の除雪方法



## ①除雪トラックで雪を掃きます

まず車が通れるように素早く除雪する必要がありますので、馬力とスピードのある除雪トラックで除雪して道を確保します。

## ②グレーダーでキレイに雪を掃きます

スピードは出ませんが、道路のデコボコを平らにしながグレーダーできれいに除雪します。

## ③交差点はこのように除雪します

右折レーンの雪を歩道側へ掃きます。十字路の中にも雪の山が残らないように注意して除雪します。



技術係長

では、実際の除雪現場の様子を見てみましょう！尾花沢除雪ステーションを起点に、南と北の2方向に分かれて実施します。今回は北側の一部、朧気から名木沢までを紹介します。

朧気付近は片側2車線ですが、花笠地蔵交差点を過ぎると片側1車線になります。

除雪作業は後続車の安全と通行を慎重に確保しながらスムーズに行うことが大切です。実際の除雪の様子を見てみましょう。(↓の除雪トラックの作業写真と除雪グレーダーの作業写真は時間帯の異なる写真ですが、それぞれ上記①②の作業をセットで行っています)。北側は尾花沢除雪ステーションから、野黒沢を経由して猿羽根トンネルまで除雪します。(尾花沢新庄道路は新庄国道維持出張所で除雪しています)

## 除雪トラックでの車道除雪(片側2車線部)



(1) 追い越し車線(中央分離帯側)の雪を走行車線側へ寄せます。



(2) (1)で寄せられた雪と走行車線の雪を外側へ出します。

Q. 写真左の追い越し車線の除雪では、どうして前に付いているプラウを使わないで、下についているグレーダーで除雪しているのですか？

A. 前に付いているプラウは、雪がもっと多いときや路肩の雪を外側に飛ばすときに使います。片側2車線の追い越し車線で使用すると、走行車線側に雪が勢よく飛んでいき、走っている車の視界をふさぐ恐れがあります。そのため追い越し車線側はグレーダー部分を使って除雪することが多いです。

記者M・T



升川 隆敏(株) 斉藤さん (現場代理人)

# 除雪グレーダでの車道除雪(片側2車線部)



(a) 1台目は追い越し車線側の雪を中央へ。間隔をあけて3台のグレーダで除雪します。



(b) 2台目、3台目で外へ外へと雪をどかします。



技術係長

通行中のみなさまのご協力ありがとうございました。



記者M・T

Q. 除雪車に2人乗っているのはなぜですか？

A. 除雪作業は、常に細心の注意を払って安全確認をしながら進めています。そのため、運転手だけでなく、2人で安全を確認しています。

また、無線機などで連絡を取りあうこともあり、運転していないほうがその役をします。

集中して運転するので、一定区間で交替して運転し注意力の低下を防ぐことから2人乗っているのです。



升川建設(株)  
斉藤さん  
(現場代理人)



記者M・T

Q. 作業中の除雪グレーダの中は振動や音がかなりひびくのですか？また、どのくらいのスピードで作業するのですか？

A. 除雪グレーダの中は振動がすごいです。特にコンクリート舗装の所は振動と音が大きく、隣同士でも大きい声で話さないと聞こえないくらいです。

安全性を考え、グレーダは作業中は時速15キロ程度、除雪トラックは時速30キロくらいで通常作業しています。



升川建設(株)  
斉藤さん  
(現場代理人)



▲尾花沢市内、名木沢歩道橋の上から(片側1車線部)

## インタビュー



▲升川建設(株)  
芳賀さん  
(除雪グレーダオペレーター)

除雪車を追い越す車両に特に注意して作業をしています。また、昼間は交通渋滞が発生し易いので後続車を所々で解放しながら作業するようにしています。



▲升川建設(株)  
加藤さん  
(除雪グレーダオペレーター)

除雪作業の際は、交通事故に注意して安全に作業をしています。もちろん機械は出動する前しっかり点検して作業にあたっています。  
除雪グレーダはあまりスピードの出ない作業車です。通行中のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

## 取材を終えて



記者M・T

今回は除雪グレーダという除雪車を見学させていただきました。  
除雪グレーダの第一印象は……カマキリっぽいなあと感じました。国道13号線を3台のグレーダで、片側2車線道路の追い越し車線側、中央、走行車線側と順々に雪を集めて除雪していました。  
見学した日は青空でしたが、前の晩に50cm程度の降雪がありました。除雪されて広くキレイになった道路を走行するのは気持ちいいだろうなあと感じました。



**今冬も安全に除雪を行います。みなさまのご理解・ご協力をお願いします。**

道路に関するご意見・質問、出張所通信の感想など  
どんどんお寄せ下さい！

**国土交通省 山形河川国道事務所 尾花沢国道維持出張所**

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>

〒999-4221  
山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1  
TEL. 0237-23-2521  
FAX. 0237-23-2523



### 3月の出張所通信

3-1. 防雪柵設置工事が無事完成しました。  
(最終号)